



2020年2月19日

各位

興和株式会社

Rho キナーゼ阻害薬 リパスジル塩酸塩水和物と
ブリモニジン酒石酸塩の配合点眼剤の
国内第Ⅲ相臨床試験開始に関するお知らせ
【開発コード：K-232】

興和株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長 三輪 芳弘）は、Rho キナーゼ阻害薬である「リパスジル塩酸塩水和物」（以下、「本物質」）につきまして、緑内障・高眼圧症を適応症とするブリモニジン酒石酸塩との配合点眼剤の国内第Ⅲ相臨床試験（開発コード：K-232）を開始することとなりましたので、お知らせいたします。

本物質は緑内障・高眼圧症治療剤「グラナテック®点眼液 0.4%（以下、「グラナテック」）」として、2014年12月より日本で販売するとともに、世界戦略品としてグローバル展開を進めています。また、本物質は米国において、角膜内皮障害を適応症とした第Ⅱ相臨床試験（開発コード：K-321）を進めています。


本剤は本物質を含む初めての配合点眼剤として、アドヒアランスの向上が期待され、緑内障患者さんの治療に貢献できるものと考えております。

■グラナテック®点眼液 0.4%について

グラナテックは、Rho キナーゼを阻害することにより、線維柱帯-シュレム管を介する主流出路からの房水流出を促進することで眼圧を下降させます。

日本国内で実施した原発開放隅角緑内障および高眼圧症の患者さんを対象とした臨床試験において、グラナテックは、単独での使用および既存の緑内障・高眼圧症治療剤と併用での使用のいずれの場合でも、眼圧下降効果を示すことが確認されています。

以上

| | | |
|---|---------|--|
|  興和株式会社 | 広報部（東京） | 東京都中央区日本橋本町 3-4-14 TEL：03-3279-7392 |
| | 本店（名古屋） | 名古屋市中区錦 3-6-29 |